

赤池福祉会四保育園合同田植え
泥んこになってお百姓さん体験

6月9日に上野地区の田んぼで上野・市場・赤池・中尾の4保育所による田植えが行われました。保育所ごと4列に並んだ年長園児60人が、田に足を取られながらも丁寧に苗を植えています。作業を終え、両端から張ったひものポイントに沿って整然と並んだ「もち米の苗」を前に、園児たちは満足そうな笑みを浮かべていました。



↑5畝の田のもち米が秋に収穫を向かえと「もちつき」で豊作を祝います。

↑福智町にかかった虹色の「彩雲」。(午後1時40分ごろ、本庁前で撮影)



福智の空にパステルカラーの吉兆
虹色の筋「彩雲」

5月25日午後、福岡県内の上空でパステルカラーに彩られた「彩雲」が観測され、福智町にも直線の虹のように見える光の筋が延びました。「彩雲」は高層に発生した雲の氷の粒が、太陽光を屈折させて起きる現象。古くから「慶雲」「瑞雲」と呼ばれ、めでたいことが起きる前兆とされてきました。ぜひ福智町全員の吉兆であってほしいですね。

↓保育所・学校・行政・大学教授で組織された15人の実行委員会。



福智町幼児体験活動研究開発事業
幼児体験モデル事業の実行委員会発足

県教育委員会主催による福智町幼児体験活動研究開発事業が、赤池福祉会の4保育園で行われることが決まり、6月2日に実行委員会が発足しました。同会の小松春義理事長(町議会議員)が実行委員長に就任。今後、県内6か所で行われる3か年のモデル事業として、保育所間や小学校との連携、人材活用などのプログラム開発が進められます。

↓午前中に行われた5・6年生による組体操、午後は6年生のラストランで幕を閉じました。



市場小学校運動会
愛着ある運動場で最後の演技

校舎の建て替えをひかえた市場小学校(太田亮一校長)で6月4日に運動会が行われました。建設予定地となったグラウンドで行う最後の行事に、紅白のチームに分かれた4百人の児童が25種目に汗を流しました。特に高学年児童は期待と名残惜しさが入り交じった面持ちで、土の感触をかみしめるように演技。組体操で5段のタワーやピラミッドなどの大技が成功すると、会場は惜しみない拍手と感動に包まれました。

中体連春季野球大会
金田中野球部快勝 春夏連覇めざす

中体連の田川地区春季大会で金田中野球部(中川智明監督)が見事優勝を果たしました。5回戦目でひかえた決勝は、6月4日に猪俣金球場(田川市)で池尻中学校(川崎町)と対戦。序盤から確実に得点を重ね11対1で圧勝しました。大会防率率0.75と投手陣も好投。現在、春夏連覇を目指し、夏季大会に向けて練習を重ねています。



↑故障者もあり万全ではない中で、自信につながる優勝を飾った金田中野球部。

コスモス診療所に絵画の寄贈
心癒す町出身画家の名作たち

コスモス診療所に、故・久原弘氏の油絵2点と故・白川弘毅氏の水彩画1点が寄贈されました。久原弘氏は、旧赤池町の町章をはじめモニュメントなどのデザインを数多く手がけた同町の名誉町民。故・白川弘毅氏は独自の画風を大成し、透明水彩における日本の第一人者として名をはせました。このほかにも添谷翠泉氏の書が寄贈されています。展示は赤池文連10団体による66点の作品入れ替えとともに6月1日から行われ、診療所を訪れる人たちに数々の名作が安らぎを与えています。



↑入口付近に掛かる久原弘氏の「炭坑の風景」

北部九州青少年空手道大会ほか
三大大会で勵士館野島塾が好成绩

実践空手勵士館野島塾(上野)が3大会で好成绩を収めました。結果は次のとおりです(敬称略)【北部九州青少年フルコンタクト空手道大会・6/4・鞍手町立体育館】小学校低学年女子の部▶3位:相浦美琴、中3の部▶2位:木村正文・3位:久富稜平【東九州交流空手道選手権大会・5/21・大分県杵築市立山香小体育館】小3の部▶3位:谷川健志【不退换杯ジュニアフルコンタクト空手道選手権大会・2/5・かずやドーム】中2の部▶優勝:木村正文・2位:久富稜平



↑入賞者を囲んで、練習の後の少年拳士たちと久富後援会長・野島塾長。